

第 5 学年 音楽科 学習指導案

平成 21 年 9 月 3 日 (木) 3・4 校時

指導者 長谷場 由久子



1 題材 豊かな表現

2 目標

- 積極的に場面にあった伴奏を工夫したり、場面の变化を感じ取ろうとする。
- 伴奏の要素を変化させることにより、場面に応じた表現を工夫することができる。
- 適切な速さや強さで演奏することができる。
- 音楽を特徴付けている要素と曲想との関わり、楽器の音色の特徴、それらの音の重なりによって生まれる響きに気をつけて聴くとともに、曲想を全体的に味わって聴く。

3 指導観

- 本題材は、音楽を特徴付けている要素と曲想との関わりを感じ、それらを生かした伴奏を工夫したり、曲想の変化の特徴を感じ取って聴くことをねらいとして設定したものである。

5 学年は、曲想を生かした表現の工夫が求められ、鑑賞に関しても単に曲想の変化を感じ取るだけでなく、その楽曲の特徴を感じ取ることが求められている。そこで、楽器の音色を比較し、要素を変化させ伴奏をつくる活動をとおして、豊かな表現につながる表現の工夫及び鑑賞の学習を設定した。

ここで取り扱う教材「星の世界」は昔から多くの人に親しまれてる曲である。全体を通して、I・IV・Vの3種類の和音で伴奏ができるので、伴奏を工夫させやすく、場面に応じて要素を変化させることに適した教材である。シューベルト作曲「ピアノ五重奏曲“ます” 第4楽章」は変奏曲として作曲されている。変奏曲は主題となる旋律を様々な方法で変化させることにより、音楽を発展させていく形式である。したがって要素の変化と曲想との関係について学習するうえで、変奏曲の鑑賞活動は多くの視点を提供することになると考えた。中でも、シューベルト作曲「ます」第4楽章は主題が明確で、その変化した要素も大変聴き取りやすい。

このような学習活動を行うことは、曲想の変化と要素の関わりやその特徴を感じとり、曲全体の雰囲気や特徴を根拠をもって言葉で説明する力を育てることにつながる。根拠をもって楽曲を聴き、言葉で説明することは、楽曲の構成している要素や仕組みの理解を深め、より深く音楽を聴いたり音楽の美しさやおもしろさを発見する喜びを育てていくうえで大変意義がある。

- 本学級(男子 20 名 女子 19 名 計 39 名)の子どもたちは、明るく活発な子どもたちである。音楽の学習に関しても、歌や演奏をすることが好きな子どもが多いが、音楽に関しての技術や知識は個人で大きな差がみられる。

これまで子どもたちは、歌唱の授業を中心に様々な音楽の活動を行ってきた。第1学年時から、鍵盤ハーモニカについても扱っており、基本的な弾き方は理解しているものの、和音を弾いたりする機会は少なかった。また、音楽を形作っている要素に関しても、リズムや強弱などを授業の中で扱っている。しかし、要素と曲想との関係を考えていくことは、これからの学習によるところが大きい。

- そこで本題材では、歌唱から題材に入り、創作、器楽、鑑賞をバランスよく行い、伴奏の変化を感じることにより、楽曲全体の変化やその響きの変化を味わうことができるようにしたい。

導入(第1次)では、歌唱を中心に、基礎的な簡易伴奏を学び、基本的な和声の響きを聴き取る。展開(第2次)では、簡易伴奏を工夫し、場面に応じた表現の工夫をさせる。まとめ(第3次)では、要素を変化させた伴奏や主題が同じ曲をつないで演奏することにより、変奏曲の仕組みやその特徴を聴き取る事ができるようにする。

4 教材

- 「星の世界」 川路柳虹 作詞／コンバース 作曲 4分の4拍子 へ長調
- ピアノ五重奏曲 「ます」 第4楽章 シューベルト 作曲

5 指導計画

- (1) 創造的に歌唱表現にかかわり、歌唱活動への意欲を高めるとともに、旋律に合わせて簡単な伴奏の工夫をする。—————1時間
- (2) 要素の特徴を理解し、伴奏を工夫することによって、場面に応じた表現をする。—————2時間
- (3) 変奏曲の仕組みを理解し、その特徴を聴き取る。—————1時間

6 本時の目標 (1時間目/全4時間)

- 音楽表現のイメージをふくらませ、音楽を特徴付けている要素の働きに注目し、それらを生かして場面にあった伴奏を工夫できる

7 指導過程

学習活動及び学習内容	指導上の留意点	資料・準備
<p>(1) 「星の世界」を歌う。</p> <p>(2) 本時の授業の流れを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習について ・本時のめあて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 伴奏を工夫していろいろな「星の世界」をつくろう！ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方 ・時間配分 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小節ごとに区切って歌わせることで、子どもたちの様子を確認しながら、正確な音程やリズムで歌うことができるようにする。 ○ 授業の流れを示すことで、見通しを持って2時間を過ごせるようにする。 	
<p>(3) 「星の世界」の伴奏を練習する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主要三和音 (I・IV・V) の下の2つの音をまず練習することで、その組み合わせである全体の伴奏もできるだけスムーズに弾けるようにする。 ○ 和音で伴奏を演奏することが困難な子どもには、シールを用意し、鍵盤上のそれぞれの和音の位置にシールを貼って、補助できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伴奏用の楽譜 ・鍵盤の絵 ・シール ・ピアノ ・鍵盤ハーモニカ
<p>(4) どのように伴奏を変化させればいいのか、引きながら確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 旋律を弾く組と、伴奏を弾く組とに分かれ、伴奏を変化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 班ごとに役割を指定することで、全体的な和声の響きを確認させる。 ○ 例を子どもたち自身で弾かせることで、次の活動の見通しが持てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伴奏形を示した楽譜 ・ピアノ ・鍵盤ハーモニカ

<p>させる例や、伴奏形によって感じが変わることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伴奏形を2種類練習する。 <p>(5) 次時への見通しを持つ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伴奏形によって感じ方が変わることを確認することで、様々な変化を試みたいという意欲をわかせるようにする。 ○ 伴奏形の変化でどのようにイメージや雰囲気が変わったのかを考え、発表することによって、自分の言葉で伴奏の変化による響きの違いを感じ、説明することができるようにする。 ○ 次時の活動内容を伝えることで、次時の学習内容が見通せるようにする。 	
--	---	--

8 本時の評価基準

- 様々な音やリズムの組み合わせを工夫し、自分自身の感じ方や考え方を生かしながら、友達と協力して音楽づくりを進めようとしている。

6 本時の目標 (2時間目/全4時間)

- 音楽表現のイメージをふくらませ、音楽を特徴付けている要素の働きに注目し、それらを生かして場面にあった伴奏を工夫できる

7 指導過程

学習活動及び学習内容	指導上の留意点	資料・準備
<p>(1) 本時の授業の流れを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習について ・本時のめあて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>伴奏を工夫していろいろな「星の世界」をつくろう！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方 ・時間配分 	<p>○本時の学習の流れを改めて確認することで、前時との流れとの違いに気づかせ、気持ちを切り替えて望めるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伴奏用の楽譜 ・鍵盤の絵
<p>(2) どのように伴奏を変化させればいいのか、引きながら確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 旋律を弾く組と、伴奏を弾く組とに分かれ、伴奏を変化させる例や、伴奏形によって感じが変わることを確認する。 ・伴奏形を2種類練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 班ごとに役割を指定することで、全体的な和声の響きを確認させる。 ○ 例を子どもたち自身で弾かせることで、次の班ごとの活動の見通しが持てるようにする。 ○ 伴奏形によって感じ方が変わることを確認することで、様々な変化をしてみたいという意欲をわかせるようにする。 ○ 伴奏形の変化でどのようにイメージや雰囲気を変化したのかを考え、発表することによって、自分の言葉で伴奏の変化による響きの違いを感じ、説明することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シール ・伴奏形を示した楽譜 ・ピアノ ・鍵盤ハーモニカ
<p>(3) グループごとに、伴奏形について話し合い、練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 以下の点についてグループごとに話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・タイトル (ex: 楽しい星の世界) ・どのような伴奏形にするか ・どんな楽器を使うか ○ グループごとに、練習する。 ○ ペアの班と一緒に練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループをまわって指導することにより、困っているグループや全員が参加できていないグループには助言を与える。 ○ 全体に打楽器の使用も呼びかけることによって、楽器の演奏が苦手な児童も積極的に参加できるように促す。 ○ 歌う班と伴奏する班で本番を想定して、テンポや、始まる位置などを確認し、発表に備える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・キーボード ・ピアノ ・鍵盤ハーモニカ

<p>(4) 代表のグループの中間発表を聴き、表現の工夫について深めあう。</p>	<p>○ ただ演奏させるのではなく、場面を想像しながら演奏したり、聴きあったりして、よりふさわしい表現がないか考えさせる。</p>	<p>・ワークシート</p>
<p>(5) 学習の振り返り、まとめをする。</p> <p>○ 学習の振り返り</p> <p>○ 次時の学習の見通し</p>	<p>○ 本時の学習についてふりかえり、子どもの取り組みにつて賞賛しながら、自分たちの活動に満足感が持てるようにする。</p> <p>○ 次時の発表の仕方を伝えることで、発表の流れが見通せるようにする。</p>	

8 本時の評価基準

- 様々な音やリズムの組み合わせを工夫し、自分自身の感じ方や考え方を生かしながら、友達と協力して音楽づくりを進めようとしている。

6 本時の目標 (3 時間目 / 全 4 時間)

- 友達の発表を楽器の音色や、旋律・伴奏の変化に気をつけて聴き、要素の変化と響きの関係について、自分なりに言葉で表現ができる。

7 指導過程

学習活動及び学習内容	指導上の留意点	資料・準備
<p>(1) みんなで「星の世界」を歌う</p> <p>(2) 今日の流れの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の計画 <ul style="list-style-type: none"> ・今日のめあて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>グループごとの「星の世界」の工夫を感じ取ろう！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 班で最終確認 <ul style="list-style-type: none"> ・グループで ・ペア班で <p>(3) 発表する。</p> <p>① 発表する時は、以下の点について発表するようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイトル ・工夫した点 ・演奏 <p>② 発表者以外は、ワークシートに以下の点について記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よかったところ (どの工夫に対してどんな感じがしたのか) ・もっと工夫したらいいと思ったところ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 旋律を歌うことにより、前回の授業をふりかえったり、確認ができる。 ○ 授業の流れを示すことによって、一時間を見通すことができる。 ○ 発表する内容を確認することで、そのあとのミニ質疑応答に備えることができる。 ○ 発表の流れや、聴くときのポイント(どのようなことに注意して聴けばよいか)を確認することで、一人ひとりが、ねらいを持って、発表することができるようにする。 	<p>・ワークシート</p>

<p>(4) ワークシートの感想や意見、質問を発表する。(一班につき一人)</p>	<p>○ 発表者に少しでも意見を返してあげることで、発表者の意図していることと聴衆が感じたことの共通点や相違点を知り、要素の変化と曲想の変化についての意識を高められるようにする。</p>	
<p>(5) 学習の振り返り、まとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の振り返り ○ 次時の学習の見通し 	<p>○ 本時の学習についてふりかえり、子どもの取り組みにつて賞賛しながら、自分たちの活動に満足感が持てるようにする。</p>	

8 本時の評価基準

- 友達の表現について、楽曲を特徴付けるリズム、旋律、強弱、等の様々な要素に気をつけて聴こうとするとともに、これらが関連しあって、全体の曲想を生み出していることに、気づこうとする。



☆「星の世界」ワークシート2☆

5年1組 () 番 ()

○ 発表をきいてまとめよう！

	タイトル (例) 楽しい星の世界	どんなところが (タイトル) のように感じましたか？ たくさんの楽器の音色がきこえてところがたのしそうだった
1班		
2班		
3班		
4班		
5班		
6班		

